

令和7年度 北陽小学校 学力向上プラン

課題

- 国語 ○ 漢字の読み・書き・活用の力が弱い。
○ たくさんの情報の中から必要な内容を検討する力が弱い。
○ 条件に合った文章を書く力が弱い
- 算数 ○ 図形や数の計算が、弱い。
○ 題意を読み取り、適切な立式をする力が弱い。
○ 変化の関係や割合についての理解が弱い。

学力調査結果

国語		算数	
3年	56.2 (市65.5)	3年	67.9 (市73.0)
4年	60.3 (市63.9)	4年	73.4 (市68.9)
5年	61.6 (県60)	5年	68.4 (県67)
6年	70.0 (全67)	6年	60.0 (全58)

理科	
5年	58 (県54)
6年	60 (市58)

※3・4年は平均点、
5・6年は平均正答率。

授業における基本的な考え方

子どもたちが楽しさを感じる学びを

- 話す楽しさ・・・指名の工夫、対話
- 獲得する楽しさ・・・実感・体感
- 活動する楽しさ・・・場・教具・環境
- 関わる楽しさ・・・協働・対話の活動
- 創造する楽しさ・・・新しい試みを

授業を支える取組

- 学習の約束**
・学習規律の徹底
・文房具の統一
・ノート指導
・板書の統一
- 家庭学習の習慣化**
・学習のやくそく
学習者用PCも含めた校内ルールの策定
- 情報モラル教育**
デジタルシティズンシップ
- いじめを許さない 風土醸成**
不登校への組織的な対応
・全職員で対応
・関係職員の連携
・関係機関との連携
- 外部人材との連携**
・校内支援体制の確立と活用
・SC,SSW,関係機関との連携
・幼保・中学校との連携
- 北陽PUタイムの活用**
「学年団」としての取組
- 長崎県授業改善メソッドの活用**
あじさいスタンダードの活用

北陽

～「主体的・対話的で深い学び」場の実現～

本年度重点目標

- 1 言語事項の定着
- 2 的確な文章を書く力の向上
- 3 整数・小数・分数の計算力向上
- 4 図形の学習の応用と定着
- 5 ICT活用力の向上

授業における指導

- 1 毎授業の振り返りや読書の設定
- 2 思考場面を多く取り入れ、自分なりの理論を立てさせる。
- 3 ペア学習・グループ学習等の対話による学習の深化
- 4 ドリル学習(キュービナ等)・プリント学習による基礎基本の定着
- 5 ICTの活用による授業改善(PCの積極的活用)
- 6 自由進度や習熟度・コース学習による個に応じた学びの組織化

家庭における取組

- 1 「北陽っ子のくらし」(生活の約束)の周知徹底
- 2 宿題と自主学習の推進
- 3 「あはは」運動の奨励
- 4 基本的生活習慣の徹底(早寝・早起き・朝ご飯・歯みがき)

学校サポーターの活用

- 1 育友会
- 2 教育相談員
- 3 自治会
- 4 地域コミュニティ
- 5 別室支援員

校内研修における取組

研究主題
令和の長崎スクールプロジェクト
「つながって学ぶ楽しさを感じる学校」

